

日商産一発 第76号
2017年2月28日

LOBO調査 実施商工会議所 御中

日本商工会議所

LOBO調査（2017年2月分）の集計結果の送付について

先般実施いたしました標記調査の集計結果を下記の通りご報告いたします。
実施商工会議所各位におかれましては、本調査結果をヒアリング対象企業へ送付されるほか、会合等での資料として積極的にご活用くださるようお願いいたします。
なお、本調査結果（ブロック別概況部分を除く）につきましては、日商ホームページに掲載しておりますので、併せてご利用ください。
（アドレスは <http://www.jcci.or.jp/lobo/lobo.html> です。）

（本件担当） 産業政策第一部 小田・佐藤・富澤
TEL：03-3283-7630
FAX：03-3213-8716
E-mail:sangyo1@jcci.or.jp

商工会議所LOBO（早期景気観測） ――2017年2月調査結果――

○調査期間：2017年2月14日～20日
○調査対象：全国の423商工会議所が2982企業にヒアリング

<産業別回収状況>				<ブロック別回収率>	
調査産業	調査対象数	回答数	回収率		
建設	458	235	51.3%	北海道	40.6%
製造	725	369	50.9%	東北	51.8%
卸売	325	163	50.2%	北陸信越	43.5%
小売	689	318	46.2%	関東	52.1%
サービス	785	352	44.8%	東海	41.6%
合計	2982	1437	48.2%	関西	48.0%
				中国	49.2%
				四国	70.4%
				九州	41.1%

○調査項目：今月の売上・採算・業況等についての状況（DI値を集計）

※ DI値（景況判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

DI = (増加・好転などの回答割合) - (減少・悪化などの回答割合)
業況・採算：(好転) - (悪化) 売上：(増加) - (減少)

―――【2017年2月調査結果のポイント】―――

業況DIは、足踏み。先行き改善見込むも、懸念材料多く、慎重な見方続く

2月の全産業合計の業況DIは、▲24.0と、前月から▲1.0ポイントの悪化。大雪など天候不順による客足減少や消費者の節約志向、人手不足の影響などにより、サービス業・卸売業の売上が減少した。また、建設業や製造業を中心に原材料や燃料の値上りを指摘する声が聞かれた。中小企業の景況感には、電子部品、自動車関連の生産や住宅など民間工事の底堅い動きに下支えされているものの、改善に向けた動きは足踏み状況となっている。

先行きについては、先行き見通しDIが▲16.7（今月比+7.3ポイント）と改善を見込むものの、「悪化」から「不変」への変化が主因。インバウンドを含む消費の拡大や設備投資の増加、海外経済の回復に加え、プレミアムフライデーを契機とする個人消費の喚起に期待する声も聞かれる。他方、消費の一段の悪化や人手不足の影響拡大、米国大統領の政策の不透明感、原材料・燃料価格の上昇による収益悪化などへの懸念から、中小企業においては業績改善に確信を持たず、業況感には横ばい圏内との見方が続く。

ブロック・産業別業況D I（前年同月比：2017年2月）

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 24.0	▲ 14.6	▲ 17.1	▲ 32.5	▲ 40.4	▲ 18.6
北 海 道	▲ 28.4	▲ 17.4	▲ 36.8	▲ 14.3	▲ 34.8	▲ 30.4
東 北	▲ 27.7	▲ 4.3	▲ 29.0	▲ 53.3	▲ 35.5	▲ 23.3
北陸信越	▲ 26.7	▲ 16.7	▲ 27.3	▲ 38.5	▲ 26.9	▲ 31.0
関 東	▲ 19.2	▲ 14.5	▲ 8.3	▲ 24.1	▲ 41.4	▲ 13.0
東 海	▲ 19.5	▲ 17.4	▲ 7.7	▲ 38.9	▲ 43.3	▲ 9.8
関 西	▲ 29.7	▲ 8.7	▲ 22.7	▲ 44.0	▲ 43.2	▲ 25.6
中 国	▲ 22.9	▲ 7.7	▲ 10.0	▲ 27.3	▲ 47.8	▲ 21.1
四 国	▲ 28.3	▲ 35.0	▲ 16.7	▲ 30.0	▲ 28.6	▲ 33.3
九 州	▲ 25.0	▲ 6.3	▲ 29.6	▲ 20.0	▲ 60.0	▲ 3.3

ブロック・産業別業況D I（先行き見通し：2017年3月～5月）

上段：2017年2月時点

下段：2016年2月時点

	全業種	建設	製造	卸売	小売	サービス
全 国	▲ 16.7	▲ 12.6	▲ 10.1	▲ 21.0	▲ 30.0	▲ 12.1
北 海 道	▲ 18.2	▲ 16.1	▲ 13.7	▲ 16.0	▲ 32.2	▲ 12.3
東 北	▲ 19.1	▲ 9.5	▲ 5.6	▲ 14.3	▲ 31.8	▲ 28.6
北陸信越	▲ 23.3	▲ 10.5	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 66.7	▲ 4.2
関 東	▲ 16.2	0.0	▲ 12.9	▲ 40.0	▲ 25.8	▲ 10.0
東 海	▲ 16.8	▲ 18.2	▲ 20.7	▲ 6.3	▲ 19.4	▲ 14.8
関 西	▲ 20.8	▲ 13.8	▲ 21.2	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 20.7
中 国	▲ 23.9	▲ 24.0	▲ 13.0	▲ 18.2	▲ 43.5	▲ 18.5
四 国	▲ 15.5	▲ 14.3	▲ 8.3	▲ 13.0	▲ 24.7	▲ 17.5
九 州	▲ 20.0	▲ 12.7	▲ 10.3	▲ 18.9	▲ 36.3	▲ 20.8
全 国	▲ 13.6	▲ 13.0	▲ 6.0	▲ 16.7	▲ 40.0	▲ 2.4
北 海 道	▲ 21.3	▲ 4.0	▲ 21.1	▲ 27.8	▲ 30.3	▲ 22.2
東 北	▲ 13.8	▲ 4.3	4.5	▲ 32.0	▲ 27.3	▲ 13.2
北陸信越	▲ 13.0	▲ 16.7	▲ 4.9	▲ 10.0	▲ 25.5	▲ 5.6
関 東	▲ 17.9	▲ 30.8	▲ 3.3	▲ 27.3	▲ 40.9	0.0
東 海	▲ 10.3	20.0	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 34.8	13.3
関 西	▲ 17.3	▲ 15.8	▲ 12.5	▲ 33.3	▲ 25.0	▲ 8.3
中 国	▲ 12.0	▲ 30.0	▲ 7.1	▲ 10.0	▲ 11.5	▲ 4.2
四 国	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 40.7	▲ 10.0	▲ 40.0	3.3
九 州	▲ 18.5	▲ 46.7	▲ 19.4	0.0	▲ 36.0	7.7

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しD I（以下同じ）

産業別にみると、今月の業況D Iは前月に比べ、建設業、小売業で改善、サービス業でほぼ横ばい、その他の2業種で悪化した。
各業種から寄せられた特徴的なコメントは以下のとおり。

【建設業】「民間工事が堅調なことに加え、大雪の影響で市からの除雪関連の発注が増え、売上は改善した」（土木工事業）、「従来行われていなかった4～6月期の公共工事の入札が行われるなど、発注時期の平準化が始まっている。人手不足の緩和につながることを期待する」（一般工事業）

【製造業】「スマートフォン向けの生産が順調なことに加え、昨秋と比べた足元の円安もあり、輸出額は増加した。今後も売上高の改善が見込まれる」（電子部品製造業）、「受注はあるが、人手不足により社内に対応しきれない作業が多い。外注への依存度が高まり、利益率が落ちている」（金属加工機械製造業）、「建設や自動車関連の取引先からの引き合いが多く、フル生産の状況となっている」（製鉄業）

【卸売業】「昨秋からの農産物価格の高騰が落ち着き、前年に比べ主力商品の仕入価格は下落した」（農産物卸売業）、「鋼材仕入価格の上昇が続けば、採算が圧迫されるが、当面は輸出が好調で、売上の改善が続くと見込んでいる」（鋼材卸売業）

【小売業】「足元の円安の影響もあり、春節の売上高は堅調に推移した。ただし、単価減を客数増加でカバーする構図は変わらない」（化粧品等小売業）、「全体の売上は低調だが、バレンタイン商戦は好調で、自分へのご褒美ギフトなど高級感のある商品がよく売れた」（百貨店）、「来店客数が安定しており、売上は堅調。プレミアムフライデーに備えて様々なプランを用意し、さらなる売上拡大を図りたい」（飲食料点小売業）

【サービス業】「日本海側を中心とした記録的大雪の影響で主要道路が通行止めとなり、来店客数は減少し、売上が悪化した」（飲食業）、「前年に比べ、様々な地域で大雪となり、配送遅れが生じている。ドライバー不足と相まって、業務を処理しきれない」（運送業）、「取引先の輸出入が活発で、売上は改善した。米国大統領の政策に対する懸念はあるが、しばらく売上は高水準を維持できそうだ」（倉庫業）

【業況についての判断】

○ 業種別では、建設業は、鉄鋼、木材などの資材や燃料の価格上昇がみられたものの、住宅投資の底堅さを指摘する声があり、改善。製造業は、電子部品、自動車関連の堅調な動きの一方、原材料の値上りを受けて工作機械や金属製品関連が振るわず、悪化。卸売業は、地域によりばらつきがあるものの、水産物価格の高騰が続くほか、個人消費の低迷から売上が伸びないとの声も聞かれ、悪化。小売業は、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。消費者の節約志向が依然として強く、高額品販売は苦戦しているものの、インバウンド需要が客数の増加により堅調に推移した。また、バレンタイン商戦が好調だったとの声も聞かれた。サービス業は、ソフトウェア業の受注が好調なもの、宿泊業においては人手不足や人件費上昇が足かせとなる中、大雪、寒波といった天候不順により客足が減少し、ほぼ横ばい。西日本の日本海側などでは記録的な大雪により物流が混乱しているとの声もあった。

○ 向こう3カ月（3～5月）の先行き見通しは、全産業合計の業況DI（今月比ベース）が▲16.7（今月比+7.3ポイント）と、改善の見込み。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。

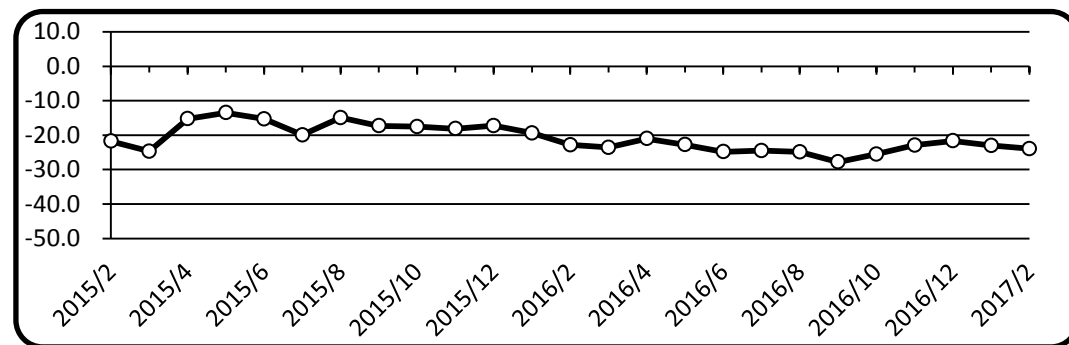
○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、全ての業種で改善を見込むが、いずれも「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体は横ばい圏内の動きとなる見込み。

業況DI（前年同月比）の推移

	16年				17年		先行き見通し 3～5月
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
全産業	▲27.8	▲25.5	▲22.9	▲21.7	▲23.0	▲24.0	▲16.7
建設	▲16.1	▲12.9	▲11.0	▲12.7	▲16.7	▲14.6	▲12.6
製造	▲24.7	▲18.1	▲18.2	▲19.6	▲13.9	▲17.1	▲10.1
卸売	▲27.7	▲29.0	▲26.4	▲22.5	▲25.4	▲32.5	▲21.0
小売	▲43.5	▲47.6	▲38.5	▲38.2	▲42.0	▲40.4	▲30.0
サービス	▲23.8	▲20.7	▲20.3	▲14.6	▲18.5	▲18.6	▲12.1

※「先行き見通し」は当月に比べた向こう3カ月の先行き見通しDI

《業況DI（全産業・前年同月比）の推移》



【売上（受注・出荷）についての判断】

○ 売上面では、全産業合計の売上DIは▲21.8（前月比▲2.0ポイント）と、悪化。産業別にみると、建設業は、公共工事には地域によりばらつきが見られるものの、住宅などの民間工事が底堅く推移しているほか、一部の地域では、大雪の影響による除雪関連の受注が増えたとの声も聞かれ、改善。製造業は、衣料などの繊維や造船関連の鈍い動きを指摘する声も聞かれるものの、堅調な電子部品や自動車関連が全体を牽引する状況が続き、ほぼ横ばい。卸売業は、個人消費の低迷から受注が伸び悩んでいるほか、不漁により水産物の出荷が鈍いとの声も聞かれ、悪化。小売業は、消費者の節約志向をあげる声が多い一方、化粧品をはじめとした堅調なインバウンド需要やバレンタイン商戦の盛り上がりも指摘する声も聞かれ、ほぼ横ばい。サービス業は、宿泊業や運送業、理容業・美容業など幅広い業種から、大雪や寒波といった天候不順、人手不足に伴う受注機会の損失などによる影響を指摘する声が多く聞かれ、悪化。

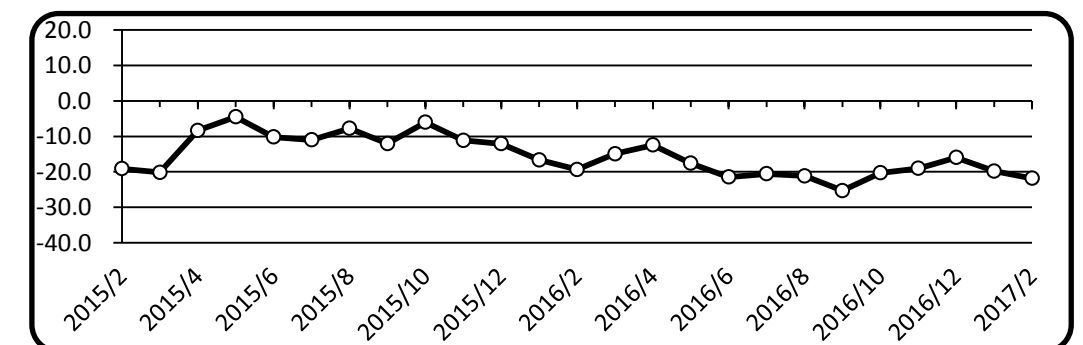
○ 向こう3カ月（3～5月）の先行き見通しは、全産業合計の売上DI（今月比ベース）が▲12.7（今月比+9.1ポイント）と改善の見込み。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、悪化を見込む建設業は、「好転」から「不変」への変化、改善を見込むその他の4業種も、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はいずれも横ばい圏内の動きとなる見込み。

売上（受注・出荷）DI（前年同月比）の推移

	16年				17年		先行き見通し 3～5月
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
全産業	▲25.3	▲20.3	▲19.0	▲16.0	▲19.8	▲21.8	▲12.7
建設	▲17.0	▲10.3	▲8.8	▲8.5	▲14.7	▲8.9	▲10.5
製造	▲19.8	▲13.7	▲16.6	▲17.3	▲16.6	▲16.0	▲7.1
卸売	▲19.2	▲18.5	▲19.4	▲3.0	▲14.3	▲19.6	▲9.2
小売	▲45.3	▲39.3	▲31.9	▲35.7	▲38.7	▲38.9	▲28.4
サービス	▲20.4	▲18.2	▲16.6	▲8.0	▲12.1	▲22.1	▲7.8

《売上（受注・出荷）DI（全産業・前年同月比）の推移》



【採算の状況についての判断】

○ 採算面では、全産業合計の採算D Iは▲21.7（前月比▲0.3ポイント）と、ほぼ横ばい。産業別にみると、建設業は、資材価格の上昇が見られたものの、受注案件を選別し、収益を確保する動きがあり、改善。製造業は、鋼材などの原材料や燃料の価格上昇を指摘する声が多く、悪化。ただし、「好転」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。また、自動車関連から、米国大統領の政策の影響を懸念する声が多く聞かれた。卸売業は、横ばい。青果物の価格、供給量とも安定してきたとの声が聞かれる一方、消費者の低価格志向により、販売先からの値下げ要求が強まっているとの声も聞かれる。小売業は、客数の増加したインバウンド需要や、飲食料品の底堅い動きにより、改善。ただし、「悪化」から「不変」への変化も影響したことに留意が必要。サービス業は、人手不足による受注機会の損失や、人件費、燃料費の上昇を指摘する声が多く、悪化。地域によっては、大雪による配送遅延から、運送業の収益が悪化しているとの声が出ている。

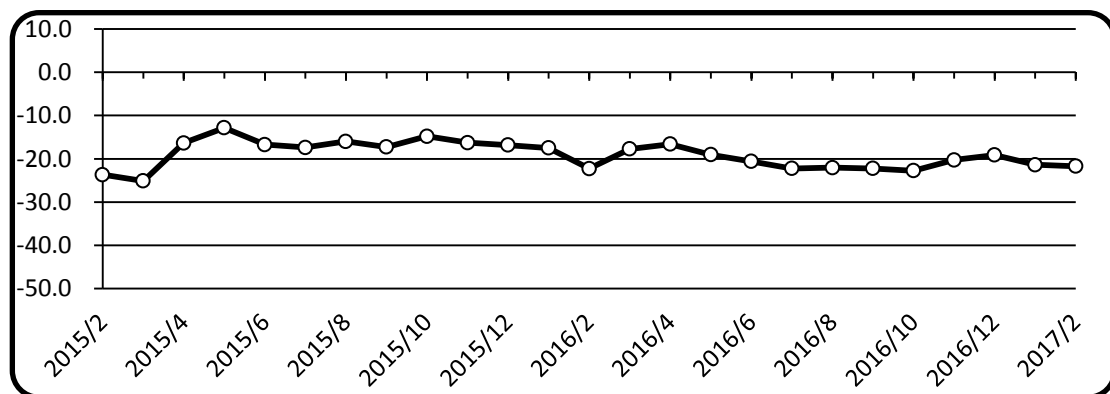
○ 向こう3カ月（3～5月）の先行き見通しは、全産業合計の採算D I（今月比ベース）が▲15.1（今月比+6.6ポイント）と改善の見込み。ただし、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はほぼ横ばい。

○ 産業別に先行き見通しをみると、今月と比べ、悪化を見込む建設業は、「好転」から「不変」への変化、改善を見込むその他の4業種も、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実体はいずれも横ばい圏内の動きとなる見込み。

採算D I（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	▲22.2	▲22.7	▲20.3	▲19.1	▲21.4	▲21.7	▲15.1
建設	▲20.9	▲14.7	▲10.5	▲15.3	▲16.4	▲14.1	▲17.2
製造	▲15.4	▲18.7	▲18.0	▲16.8	▲10.7	▲13.3	▲8.5
卸売	▲21.0	▲20.1	▲13.8	▲11.3	▲19.6	▲19.6	▲13.0
小売	▲33.5	▲39.6	▲35.3	▲35.0	▲40.7	▲38.1	▲26.9
サービス	▲20.2	▲18.8	▲18.6	▲13.5	▲19.2	▲21.8	▲11.0

《採算D I（全産業・前年同月比）の推移》



（参考）

資金繰りD I（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	▲13.2	▲13.0	▲13.0	▲10.6	▲11.8	▲12.2	▲10.1
建設	▲10.4	▲9.0	▲5.7	▲5.1	▲8.2	▲6.0	▲7.8
製造	▲9.7	▲9.9	▲10.6	▲12.1	▲10.5	▲11.5	▲7.4
卸売	▲5.4	▲6.0	▲11.3	▲2.4	▲8.9	▲5.5	▲6.2
小売	▲21.8	▲24.7	▲23.5	▲23.5	▲21.5	▲22.5	▲17.3
サービス	▲14.4	▲12.1	▲12.1	▲5.3	▲8.5	▲11.2	▲9.9

D I = (好転の回答割合) - (悪化の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の資金繰りD Iは▲12.2と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、卸売業で改善、その他の3業種で悪化した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、改善の見込み。産業別にみると、製造業、小売業、サービス業で改善、卸売業でほぼ横ばい、建設業では悪化する見込み。

仕入単価D I（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	▲20.1	▲20.9	▲25.6	▲28.0	▲26.8	▲25.9	▲27.8
建設	▲18.3	▲14.6	▲21.9	▲22.4	▲24.6	▲27.4	▲28.9
製造	▲8.3	▲10.1	▲14.3	▲19.5	▲21.6	▲23.8	▲29.2
卸売	▲24.0	▲26.6	▲33.1	▲31.0	▲27.5	▲21.6	▲26.5
小売	▲25.4	▲23.9	▲30.4	▲29.2	▲25.9	▲25.7	▲27.3
サービス	▲26.6	▲30.7	▲32.6	▲38.2	▲34.1	▲29.5	▲26.5

D I = (下落の回答割合) - (上昇の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の仕入単価D Iは▲25.9と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、卸売業、サービス業で改善、小売業でほぼ横ばい、その他の2業種で悪化した。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、悪化の見込み。産業別にみると、サービス業で改善、その他の4業種では悪化する見込み。

従業員D I（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
全産業	15.7	16.8	16.9	18.1	17.6	18.2	19.1
建設	17.8	19.7	22.8	20.7	23.7	22.2	24.1
製造	7.5	5.5	7.2	8.1	8.6	6.3	9.1
卸売	9.0	10.7	10.0	9.5	8.3	13.5	17.8
小売	22.6	26.0	20.6	24.0	24.1	25.0	22.6
サービス	19.4	21.2	23.3	25.6	21.4	23.8	23.6

D I = (不足の回答割合) - (過剰の回答割合)

【前年同月比D I】全産業合計の従業員D Iは18.2と、前月からほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、製造業で人手不足感が弱まり、小売業でほぼ横ばい。その他の2業種では人手不足感が強まった。

【先行き見通しD I】全産業合計の先行き見通しは、今月と比べ、ほぼ横ばいの見込み。産業別にみると、小売業で人手不足感が弱まり、サービス業でほぼ横ばいの見込み。その他の3業種では人手不足感が強まる見込み。

2017年2月

2017年2月

	売上高		採算		仕入単価		従業員		業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
全業種												
全国	-21.8	-12.7	-21.7	-15.1	-25.9	-27.8	18.2	19.1	-24.0	-16.7	-12.2	-10.1
北海道	-27.4	-11.2	-22.3	-12.4	-24.5	-26.1	25.3	27.0	-28.4	-19.1	-12.6	-9.2
東北	-33.6	-17.7	-22.1	-19.8	-25.4	-26.2	15.3	21.5	-27.7	-16.2	-20.0	-13.8
北陸信越	-21.1	-23.4	-26.4	-23.8	-32.6	-27.9	14.6	14.7	-26.7	-20.8	-14.0	-13.1
関東	-15.7	-10.7	-22.2	-15.0	-25.4	-30.4	16.5	17.3	-19.2	-15.5	-11.3	-11.8
東海	-15.9	-7.5	-15.2	-14.7	-26.1	-29.8	17.1	16.6	-19.5	-13.6	-8.0	-3.1
関西	-27.6	-8.1	-26.0	-12.8	-24.4	-24.7	17.8	17.9	-29.7	-13.8	-9.8	-5.9
中国	-27.1	-15.8	-13.7	-4.3	-21.3	-25.8	17.9	16.8	-22.9	-17.9	-9.6	-6.5
四国	-18.9	-9.5	-18.9	-14.3	-31.1	-25.5	24.8	25.7	-28.3	-17.3	-5.7	-8.6
九州	-25.9	-18.9	-25.9	-16.0	-23.4	-26.4	22.4	23.4	-25.0	-22.2	-23.1	-17.9

	売上高		採算		仕入単価		従業員		業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
製造												
全国	-16.0	-7.1	-13.3	-8.5	-23.8	-29.2	6.3	9.1	-17.1	-10.1	-11.5	-7.4
北海道	-31.6	-16.7	-36.8	-16.7	-10.5	-16.7	15.8	22.2	-36.8	-5.6	-15.8	0.0
東北	-29.0	-12.9	-6.5	-3.2	-19.4	-16.1	0.0	10.0	-29.0	-12.9	-25.8	-12.9
北陸信越	-18.8	-12.1	-24.2	-18.2	-36.4	-36.4	-3.0	-3.0	-27.3	-21.2	-21.9	-21.2
関東	-8.3	-6.4	-13.8	-11.9	-22.2	-35.8	5.7	9.4	-8.3	-8.3	-7.5	-9.3
東海	-13.5	-2.0	0.0	-9.8	-15.7	-23.5	7.7	7.8	-7.7	-6.0	1.9	3.9
関西	-11.4	11.4	-13.6	9.1	-29.5	-29.5	2.3	6.8	-22.7	4.5	-11.4	4.5
中国	-16.7	-6.7	-6.9	3.4	-37.9	-37.9	3.3	10.0	-10.0	-3.3	-6.9	-3.4
四国	-20.8	-16.7	-12.5	-8.3	-20.8	-20.8	30.4	21.7	-16.7	-12.5	-4.2	-8.3
九州	-25.9	-23.1	-22.2	-23.1	-22.2	-25.9	7.7	7.7	-29.6	-40.7	-33.3	-25.9

	売上高		採算		仕入単価		従業員		業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
小売												
全国	-38.9	-28.4	-38.1	-26.9	-25.7	-27.3	25.0	22.6	-40.4	-30.0	-22.5	-17.3
北海道	-43.5	-31.8	-21.7	-18.2	-17.4	-27.3	39.1	31.8	-34.8	-31.8	-8.7	-14.3
東北	-31.3	-29.0	-43.8	-31.3	-21.9	-31.3	12.5	18.8	-35.5	-25.8	-32.3	-22.6
北陸信越	-36.0	-25.0	-28.0	-20.0	-28.0	-20.0	16.0	20.0	-26.9	-30.8	-23.1	-23.1
関東	-35.6	-23.0	-34.5	-21.8	-27.6	-32.2	18.4	14.9	-41.4	-24.7	-25.6	-12.8
東海	-46.7	-27.6	-40.0	-30.0	-42.9	-39.3	43.3	43.3	-43.3	-40.0	-21.4	-17.9
関西	-39.5	-34.9	-50.0	-40.5	-24.4	-22.0	25.6	20.9	-43.2	-27.3	-21.4	-22.0
中国	-43.5	-31.8	-30.4	-18.2	-18.2	-19.0	39.1	31.8	-47.8	-40.9	-13.6	-14.3
四国	-17.9	-17.9	-28.6	-28.6	-35.7	-28.6	21.4	17.9	-28.6	-25.0	-10.7	-7.1
九州	-68.0	-45.8	-64.0	-33.3	-8.0	-12.5	28.0	24.0	-60.0	-40.0	-36.0	-29.2

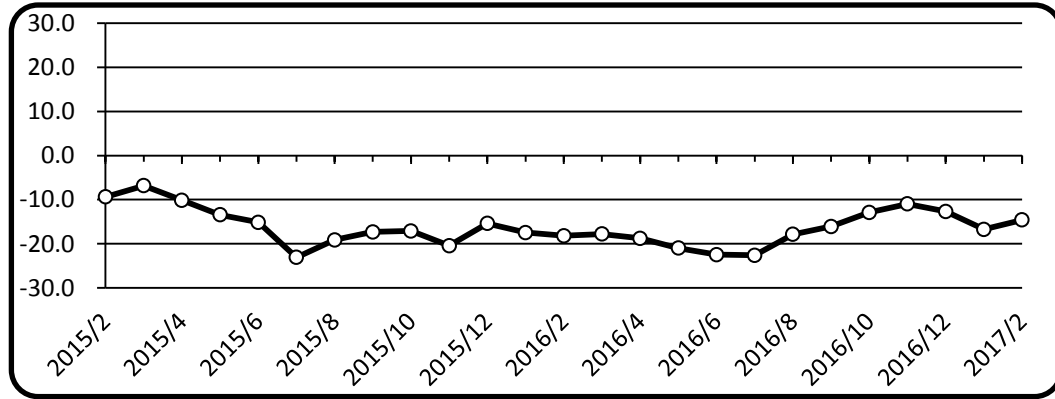
	売上高		採算		仕入単価		従業員		業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
建設												
全国	-8.9	-10.5	-14.1	-17.2	-27.4	-28.9	22.2	24.1	-14.6	-12.6	-6.0	-7.8
北海道	-21.7	-4.8	-13.6	-9.5	-34.8	-23.8	26.1	28.6	-17.4	-9.5	-8.7	-4.8
東北	-17.4	-8.7	0.0	-17.4	-30.4	-26.1	17.4	26.1	-4.3	0.0	0.0	0.0
北陸信越	-6.7	-34.5	-23.3	-30.0	-33.3	-26.7	20.0	24.1	-16.7	-13.8	-10.0	-10.0
関東	-10.9	-7.9	-18.8	-17.2	-19.0	-28.6	23.8	28.1	-14.5	-14.3	-6.3	-14.5
東海	26.1	0.0	-17.4	-17.4	-21.7	-26.1	13.0	8.7	-17.4	-13.0	-17.4	4.3
関西	-8.7	8.7	-4.3	0.0	-13.0	-17.4	34.8	34.8	-8.7	-4.3	8.7	4.3
中国	-7.7	-15.4	7.7	-7.7	-15.4	-38.5	15.4	7.7	-7.7	-30.8	15.4	7.7
四国	-30.0	-10.5	-35.0	-21.1	-45.0	-35.0	20.0	25.0	-35.0	-15.8	-10.0	-26.3
九州	0.0	-25.0	0.0	-31.3	-50.0	-50.0	25.0	18.8	-6.3	-18.8	-18.8	-18.8

	売上高		採算		仕入単価		従業員		業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
卸売												
全国	-19.6	-9.2	-19.6	-13.0	-21.6	-26.5	13.5	17.8	-32.5	-21.0	-5.5	-6.2
北海道	14.3	28.6	-14.3	0.0	-42.9	-42.9	14.3	14.3	-14.3	-14.3	0.0	0.0
東北	-46.7	-46.7	-40.0	-33.3	-21.4	-35.7	13.3	20.0	-53.3	-40.0	-26.7	-20.0
北陸信越	-23.1	-15.4	-23.1	-23.1	-30.8	-30.8	7.7	7.7	-38.5	-15.4	-7.7	-15.4
関東	-1.9	1.9	-16.7	-3.8	-22.2	-24.1	14.8	22.2	-24.1	-13.0	1.9	-5.6
東海	-55.6	-11.1	-33.3	-16.7	-16.7	-33.3	0.0	0.0	-38.9	-16.7	-16.7	-16.7
関西	-28.0	-12.0	-16.0	-12.0	-20.0	-20.0	4.0	8.0	-44.0	-32.0	-4.0	4.2
中国	-27.3	-9.1	-18.2	-9.1	18.2	-9.1	18.2	18.2	-27.3	-27.3	-18.2	-18.2
四国	-10.0	-10.0	0.0	-30.0	-40.0	-20.0	40.0	50.0	-30.0	-33.3	10.0	10.0
九州	-10.0	-20.0	-10.0	-10.0	-30.0	-40.0	30.0	30.0	-20.0	-10.0	0.0	10.0

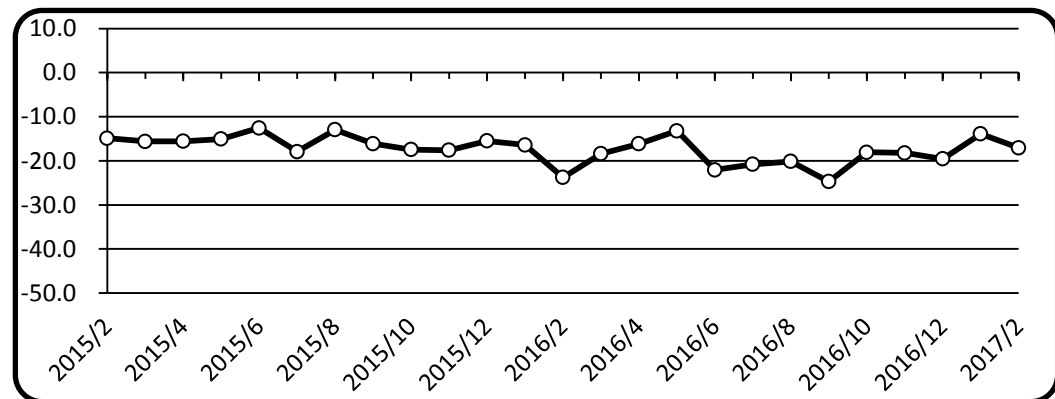
	売上高		採算		仕入単価		従業員		業況		資金繰り	
	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き	前年比	先行き
サービス												
全国	-22.1	-7.8	-21.8	-11.0	-29.5	-26.5	23.8	23.6	-18.6	-12.1	-11.2	-9.9
北海道	-26.1	-4.8	-21.7	-9.5	-27.3	-30.0	21.7	28.6	-30.4	-28.6	-21.7	-20.0
東北	-46.7	-3.3	-23.3	-20.0	-33.3	-26.7	33.3	33.3	-23.3	-10.0	-13.3	-13.3
北陸信越	-25.0	-27.6	-32.1	-27.6	-32.1	-25.0	31.0	24.1	-31.0	-20.7	-3.6	3.6
関東	-16.7	-13.0	-25.4	-16.7	-31.8	-27.9	21.7	18.1	-13.0	-17.5	-13.2	-15.0
東海	-2.4	-2.4	-7.3	-7.3	-34.1	-31.7	19.5	19.5	-9.8	-2.4	-2.4	0.0
関西	-43.6	-7.9	-33.3	-15.8	-28.2	-29.7	25.6	23.7	-25.6	-13.2	-10.3	-13.2
中国	-36.8	-15.8	-15.8	5.3	-26.3	-15.8	16.7	15.8	-21.1	0.0	-21.1	-5.3
四国	-12.5	8.3	-8.3	8.3	-20.8	-20.8	20.8	29.2	-33.3	-8.3	-4.2	-4.2
九州	-10.0	10.0	-16.7	10.0	-20.7	-20.7	26.7	36.7	-3.3	3.3	-13.3	-10.3

業況D I（前年同月比）の推移（全国）

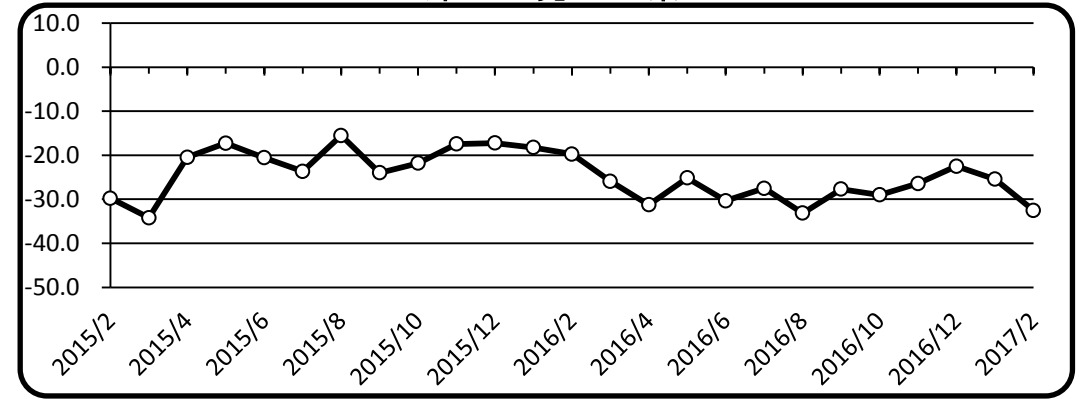
建設業



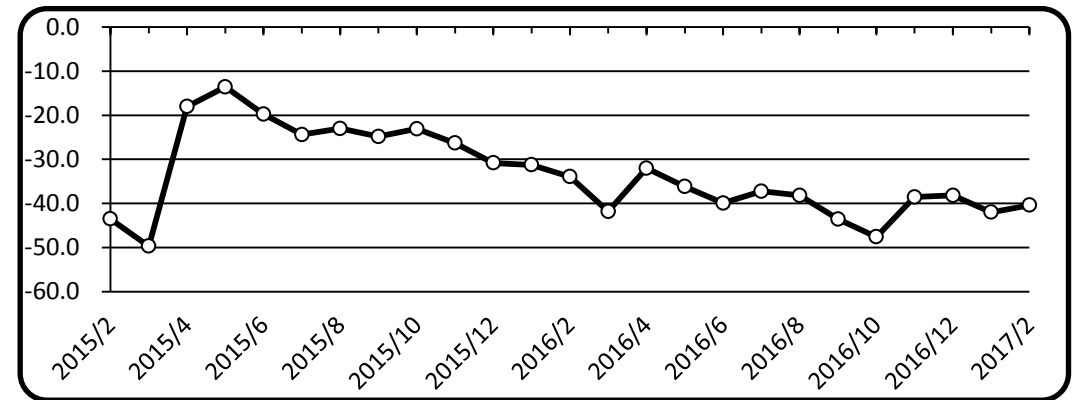
製造業



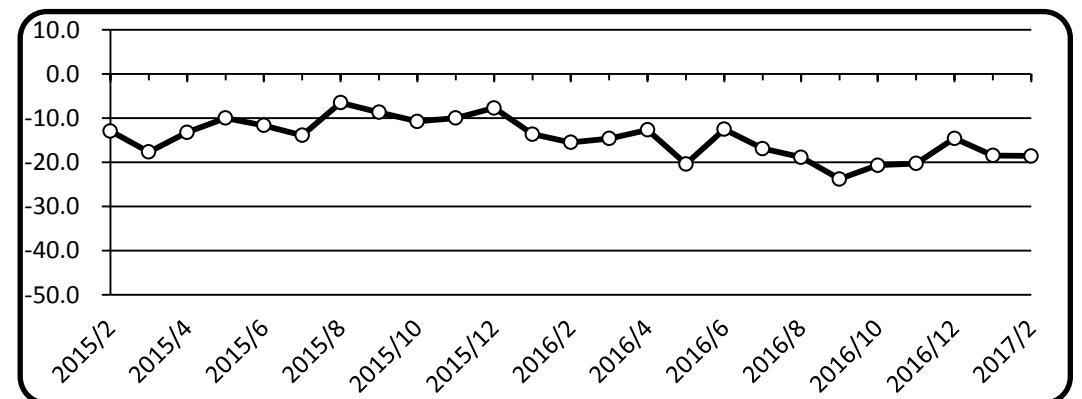
卸売業



小売業



サービス業



【ブロック別概況・北海道】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ悪化。産業別にみると、卸売業、小売業で改善、その他の3業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「民間工事、公共工事ともに発注数が減少し、売上は悪化した。採算は前年と比べ、変わらないが、今後の建設資材の価格上昇を懸念している」（一般工事業）、「建設業からの引き合いが強く、売上は堅調。前年の台風被害の復旧工事が本格化すれば、さらなる売上の改善が見込める」（木製品製造業）、「全体的に消費者の購買意欲は力強さを欠いているものの、売上は堅調に推移している。今後は春物衣料の需要拡大に期待したい」（衣料品小売業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、卸売業で横ばい、その他の4業種で改善の見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 21.0	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 21.6	▲ 20.7	▲ 28.4	▲ 19.1
売上	▲ 19.8	▲ 17.0	▲ 27.1	▲ 24.5	▲ 23.9	▲ 27.4	▲ 11.2
採算	▲ 16.0	▲ 18.1	▲ 14.6	▲ 16.7	▲ 16.5	▲ 22.3	▲ 12.4
資金繰り	▲ 11.4	▲ 8.6	▲ 6.3	▲ 10.9	▲ 13.2	▲ 12.6	▲ 9.2
仕入単価	▲ 24.0	▲ 21.3	▲ 21.9	▲ 27.5	▲ 27.5	▲ 24.5	▲ 26.1
従業員	16.2	22.3	15.6	19.6	14.1	25.3	27.0

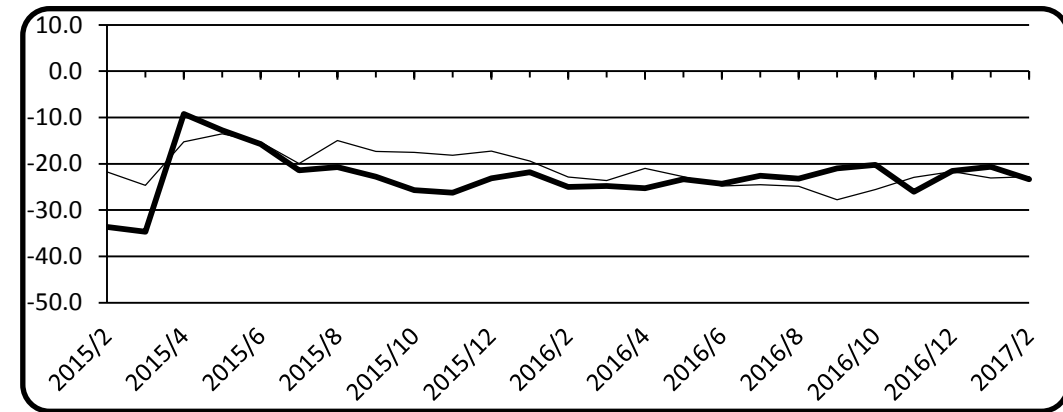
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 20.8	▲ 18.2	▲ 15.0	▲ 4.5	▲ 8.7	▲ 17.4	▲ 9.5
製造	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 36.8	▲ 5.6
卸売	▲ 10.0	▲ 66.7	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 14.3	▲ 14.3
小売	▲ 33.3	▲ 42.1	▲ 38.1	▲ 41.7	▲ 38.1	▲ 34.8	▲ 31.8
サービス	▲ 13.3	0.0	▲ 32.1	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 30.4	▲ 28.6

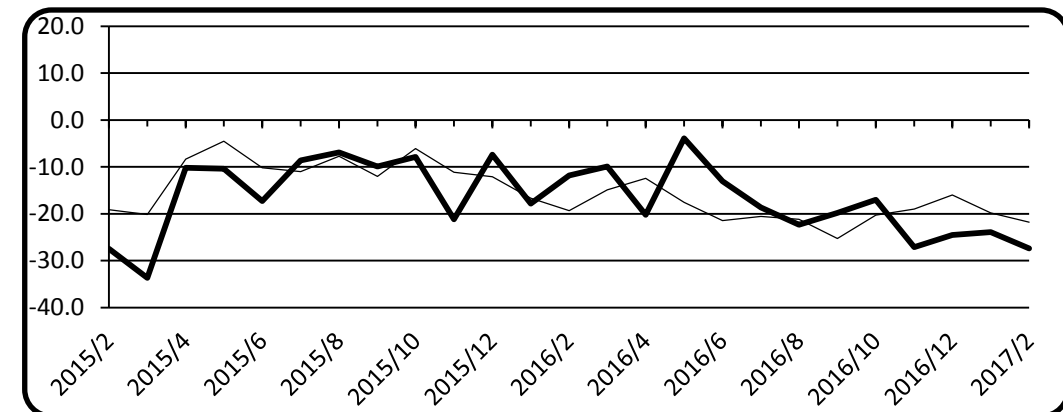
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北海道）

—— 北海道 —— 全国

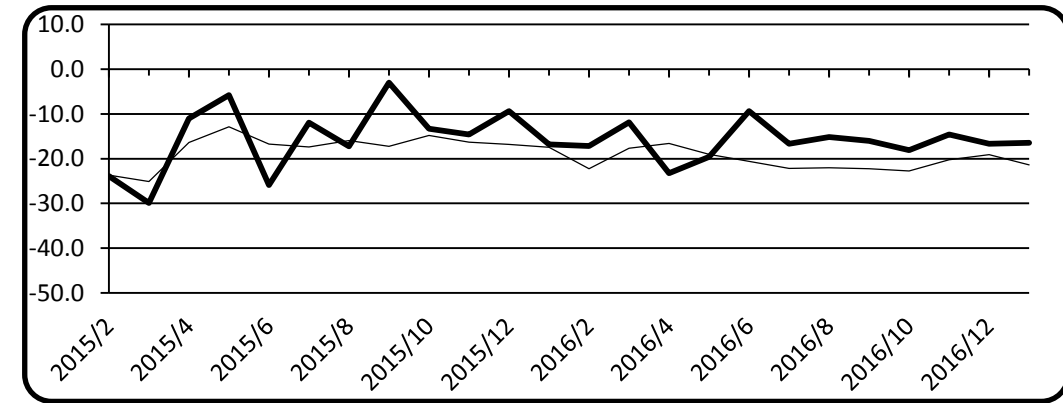
業況



売上



採算



【ブロック別概況・東北】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、建設業、小売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「前年に比べ雪の量が多いので、レジャー客などの観光需要が堅調となり、売上は改善した」（飲食料品小売業）、「荷動きは活発で売上は改善しているものの、大雪による配送遅延等が出ている」（運送業）、「民間工事の底堅さなどから、売上は堅調。だが、受注を期待していた飛行場改修計画の見直しが進められており、計画が縮小されれば、売上の改善は見込めない」（土木工事業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、全業種で改善の見込み。

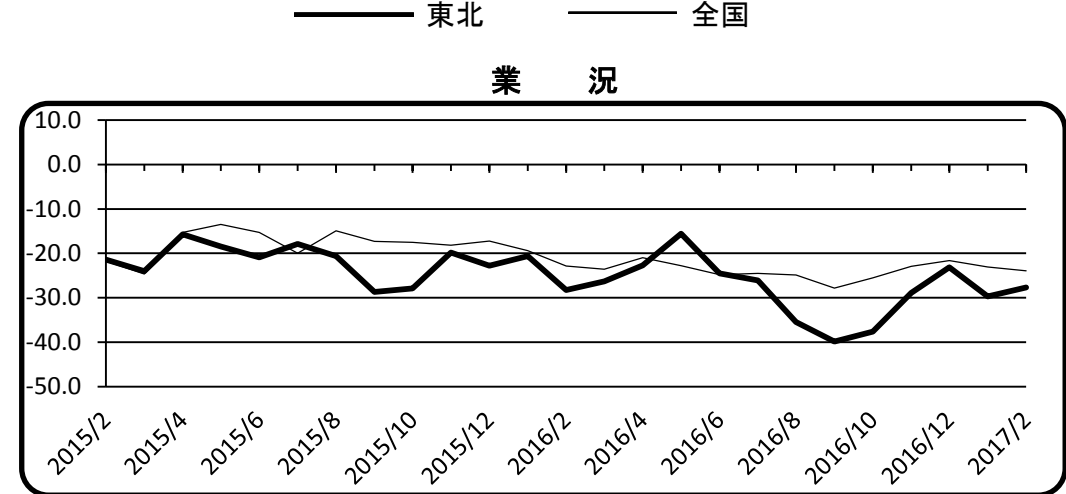
全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 39.8	▲ 37.6	▲ 28.9	▲ 23.1	▲ 29.7	▲ 27.7	▲ 16.2
売上	▲ 33.9	▲ 33.6	▲ 21.9	▲ 28.1	▲ 25.7	▲ 33.6	▲ 17.7
採算	▲ 26.0	▲ 29.8	▲ 21.9	▲ 19.5	▲ 26.5	▲ 22.1	▲ 19.8
資金繰り	▲ 17.5	▲ 22.8	▲ 12.5	▲ 12.9	▲ 14.2	▲ 20.0	▲ 13.8
仕入単価	▲ 29.7	▲ 25.6	▲ 32.0	▲ 31.3	▲ 28.4	▲ 25.4	▲ 26.2
従業員	19.5	13.6	19.5	16.4	21.1	15.3	21.5

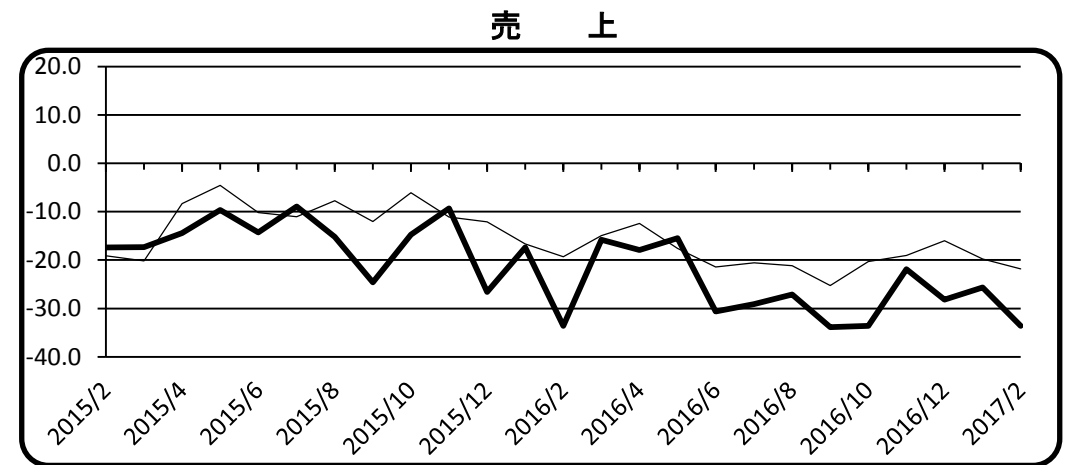
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 9.1	0.0	0.0	4.5	▲ 8.7	▲ 4.3	0.0
製造	▲ 41.4	▲ 46.7	▲ 37.5	▲ 16.1	▲ 21.1	▲ 29.0	▲ 12.9
卸売	▲ 46.7	▲ 28.6	▲ 40.0	▲ 47.1	▲ 43.8	▲ 53.3	▲ 40.0
小売	▲ 58.6	▲ 59.4	▲ 46.4	▲ 48.4	▲ 41.9	▲ 35.5	▲ 25.8
サービス	▲ 39.4	▲ 37.0	▲ 20.0	▲ 12.1	▲ 35.0	▲ 23.3	▲ 10.0

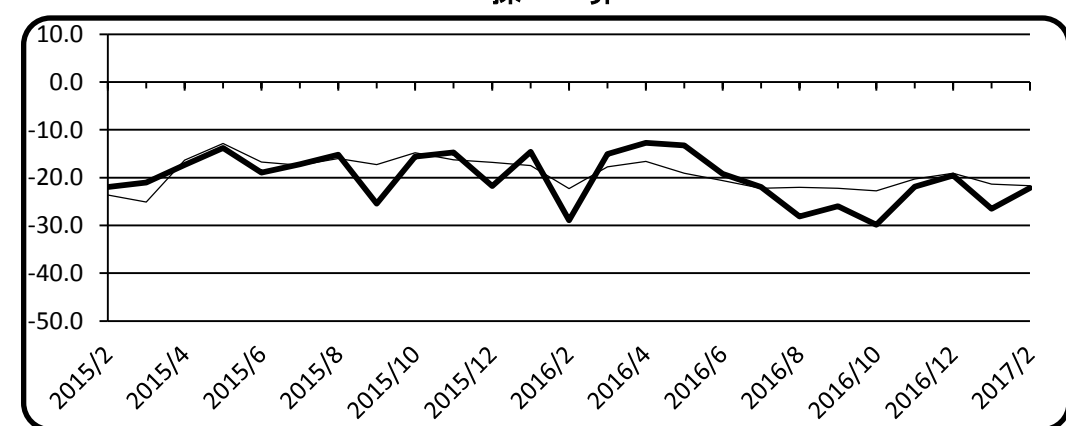
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東北）



業況



売上



採算

【ブロック別概況・北陸信越】

○全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業、製造業で改善、小売業で横ばい、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

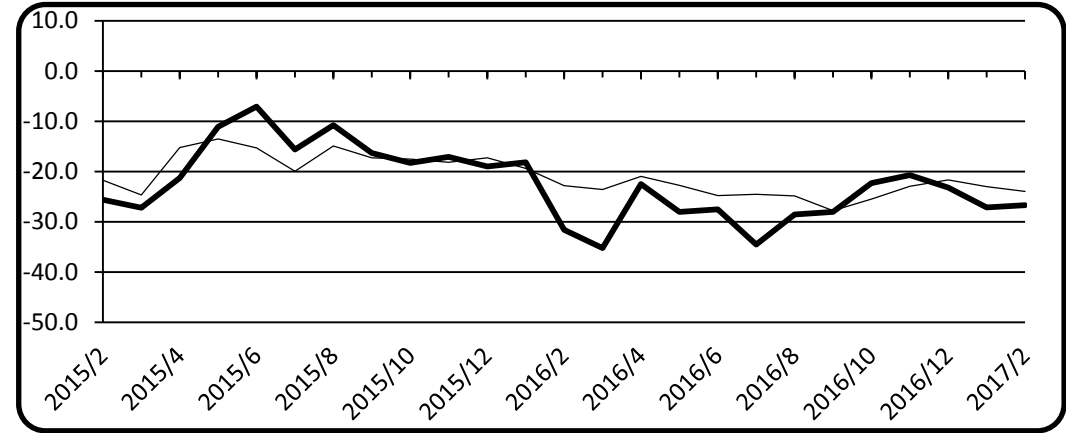
○「民間工事が堅調なことに加え、大雪の影響で市からの除雪関連の発注が増え、売上は改善した」（土木工事業）、「得意客の来店頻度が減少していることに加え、団体客も少なくなっており、売上は悪化した」（飲食業）、「消費者の健康志向の高まりにより、甘酒の売上が好調。全体の売上も前年比プラスを維持している」（食料品製造業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、小売業で悪化、その他の4業種で改善の見込み。

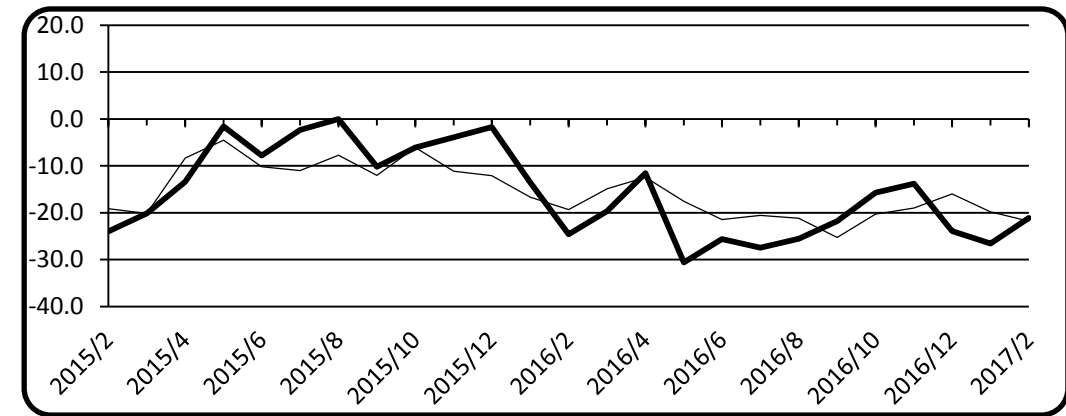
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（北陸信越）

—— 北陸信越 —— 全国

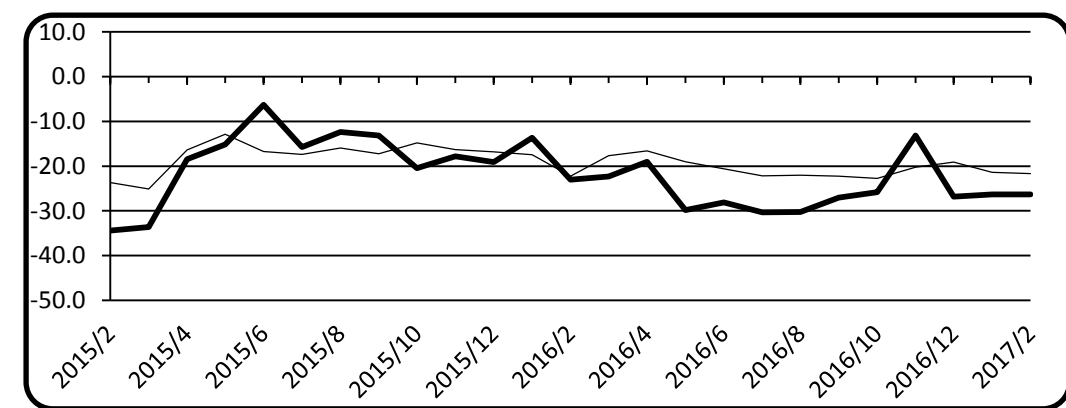
業況



売上



採算



全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
業況	▲ 28.0	▲ 22.3	▲ 20.7	▲ 23.2	▲ 27.1	▲ 26.7	▲ 20.8
売上	▲ 21.8	▲ 15.7	▲ 13.8	▲ 23.9	▲ 26.6	▲ 21.1	▲ 23.4
採算	▲ 27.1	▲ 25.8	▲ 13.2	▲ 26.8	▲ 26.4	▲ 26.4	▲ 23.8
資金繰り	▲ 16.3	▲ 13.2	▲ 13.0	▲ 14.7	▲ 17.2	▲ 14.0	▲ 13.1
仕入単価	▲ 21.1	▲ 28.6	▲ 27.8	▲ 27.9	▲ 29.1	▲ 32.6	▲ 27.9
従業員	7.5	9.0	9.6	13.9	16.4	14.6	14.7

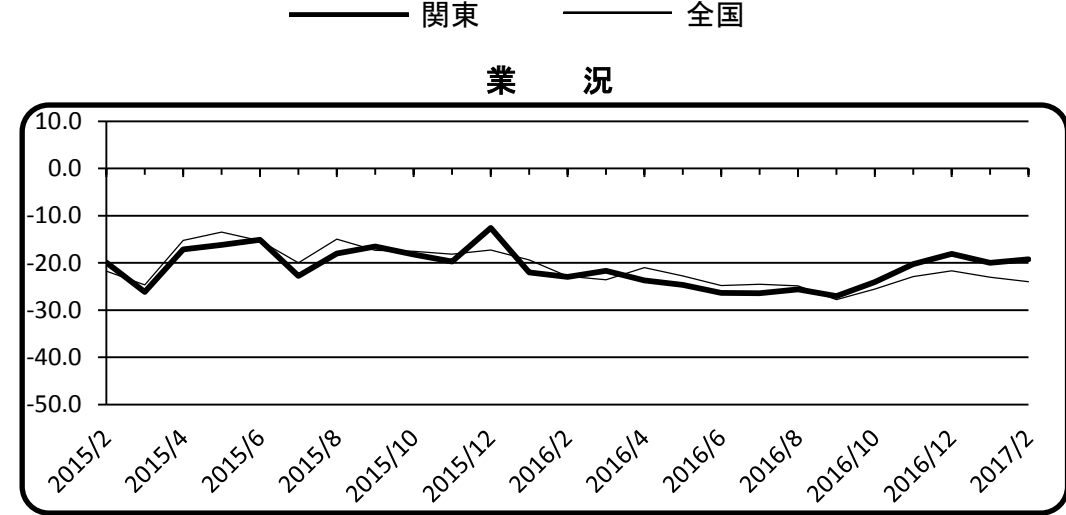
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
建設	▲ 29.6	▲ 26.9	▲ 13.0	▲ 21.9	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 13.8
製造	▲ 41.2	▲ 15.2	▲ 25.8	▲ 27.3	▲ 30.3	▲ 27.3	▲ 21.2
卸売	▲ 23.1	▲ 28.6	▲ 7.7	▲ 42.9	▲ 15.4	▲ 38.5	▲ 15.4
小売	▲ 29.0	▲ 26.1	▲ 20.8	▲ 18.5	▲ 26.9	▲ 26.9	▲ 30.8
サービス	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 15.6	▲ 27.6	▲ 31.0	▲ 20.7

【ブロック別概況・関東】

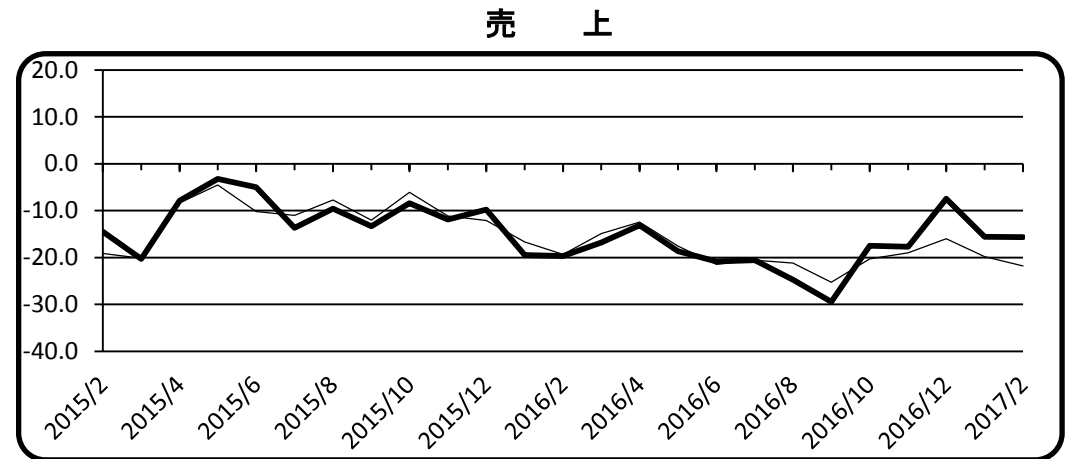
- 全産業の業況DIは、前月と比べほぼ横ばい。産業別にみると、建設業で悪化、小売業でほぼ横ばい、その他の3業種で改善した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「スマートフォン向けの生産が順調なことに加え、昨秋と比べた足元の円安もあり、輸出額は増加した。今後も売上高の改善が見込まれる」（電子部品製造業）、「来店客数が安定しており、売上は堅調。プレミアムフライデーに備え、様々なプランを用意して、さらなる売上拡大を図りたい」（飲食料点小売業）、「市内でオリンピックの競技会場が決定し、案件の増加を見越して、同業者が増えている。価格競争が厳しくなり、売上は悪化した」（管工事業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、卸売業、小売業で改善、サービス業で悪化、その他の2業種でほぼ横ばいの見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関東）



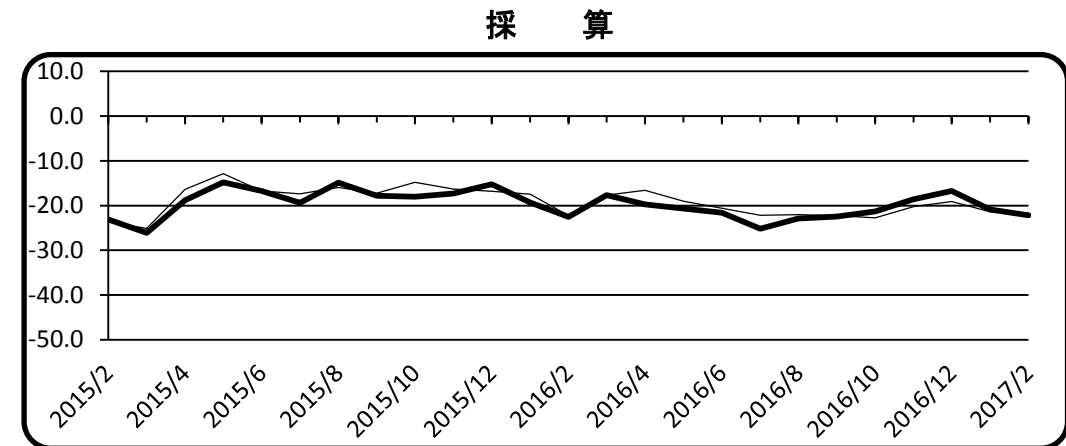
全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 27.0	▲ 24.1	▲ 20.2	▲ 18.1	▲ 20.0	▲ 19.2	▲ 15.5
売上	▲ 29.5	▲ 17.5	▲ 17.7	▲ 7.4	▲ 15.6	▲ 15.7	▲ 10.7
採算	▲ 22.5	▲ 21.3	▲ 18.6	▲ 16.7	▲ 20.9	▲ 22.2	▲ 15.0
資金繰り	▲ 11.0	▲ 12.7	▲ 14.0	▲ 9.6	▲ 12.0	▲ 11.3	▲ 11.8
仕入単価	▲ 19.5	▲ 19.5	▲ 26.2	▲ 27.6	▲ 27.1	▲ 25.4	▲ 30.4
従業員	16.4	17.4	17.0	18.4	14.3	16.5	17.3



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 16.4	▲ 13.0	▲ 5.6	▲ 12.7	▲ 7.2	▲ 14.5	▲ 14.3
製造	▲ 18.5	▲ 6.8	▲ 13.5	▲ 9.1	▲ 11.3	▲ 8.3	▲ 8.3
卸売	▲ 25.9	▲ 28.8	▲ 22.4	▲ 13.3	▲ 27.6	▲ 24.1	▲ 13.0
小売	▲ 39.6	▲ 44.2	▲ 41.1	▲ 35.7	▲ 40.7	▲ 41.4	▲ 24.7
サービス	▲ 31.3	▲ 28.8	▲ 18.4	▲ 19.7	▲ 15.2	▲ 13.0	▲ 17.5



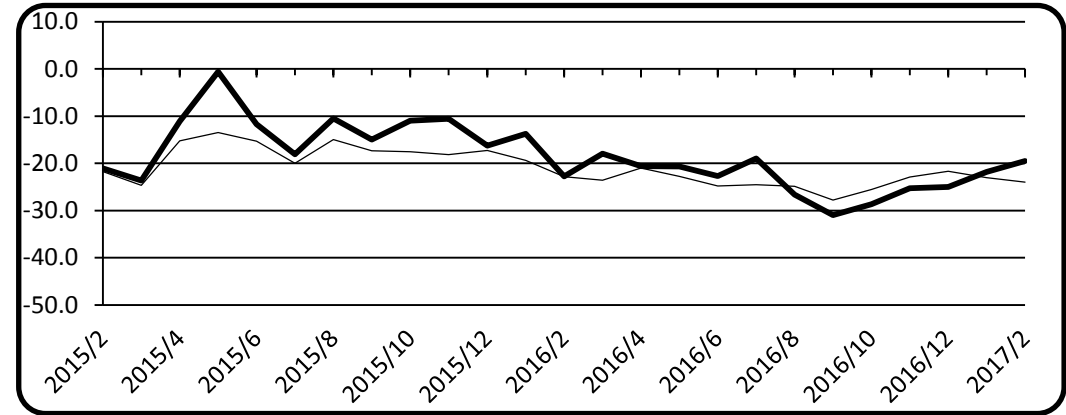
【ブロック別概況・東海】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、建設業、小売業で改善、サービス業ではほぼ横ばい、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「燃料費や資材価格の上昇が見られるものの、設備投資など民間工事が堅調で、売上は改善した」（一般工事業）、「バレンタイン商戦では、高級な商品が好調で、売上は前年を上回った」（百貨店）、「燃料費の上昇による利幅の低下や人手不足等で、好況感が感じられない繁忙が続く」（運送業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、全業種で改善の見込み。

ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（東海）

—— 東海 —— 全国

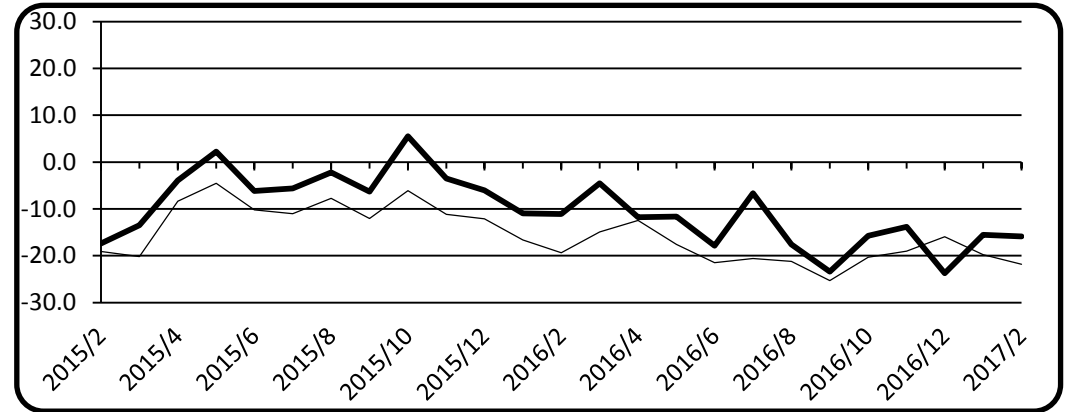
業 況



全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 31.0	▲ 28.7	▲ 25.3	▲ 25.0	▲ 21.8	▲ 19.5	▲ 13.6
売上	▲ 23.4	▲ 15.7	▲ 13.8	▲ 23.7	▲ 15.5	▲ 15.9	▲ 7.5
採算	▲ 22.9	▲ 29.1	▲ 31.6	▲ 28.8	▲ 21.4	▲ 15.2	▲ 14.7
資金繰り	▲ 15.9	▲ 9.6	▲ 16.0	▲ 11.8	▲ 10.5	▲ 8.0	▲ 3.1
仕入単価	▲ 13.7	▲ 15.7	▲ 19.9	▲ 23.5	▲ 22.7	▲ 26.1	▲ 29.8
従業員	15.9	17.5	14.5	16.9	17.8	17.1	16.6

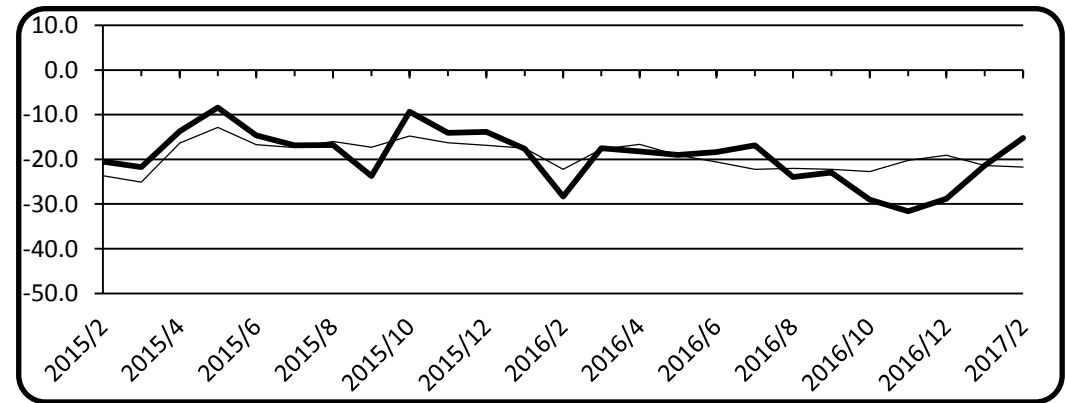
売 上



産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 11.5	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 15.0	▲ 37.5	▲ 17.4	▲ 13.0
製造	▲ 22.2	▲ 11.3	▲ 16.1	▲ 17.4	▲ 1.9	▲ 7.7	▲ 6.0
卸売	▲ 35.0	▲ 47.4	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 38.9	▲ 16.7
小売	▲ 63.6	▲ 66.7	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 54.8	▲ 43.3	▲ 40.0
サービス	▲ 26.3	▲ 23.1	▲ 23.4	▲ 14.0	▲ 10.2	▲ 9.8	▲ 2.4

採 算



【ブロック別概況・関西】

○全産業の業況DIは、前月と比べ悪化。産業別にみると、建設業、小売業で改善、その他の3業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「ガソリン価格の上昇で、採算が圧迫されていることに加え、ドライバー不足もあって、業況は改善しない」(運送業)、「昨秋と比べた足元の円安の影響もあり、春節による売上高は堅調に推移した。ただし、単価減を客数増加でカバーする構図は変わらない」(化粧品等小売業)、「一部の農産物価格が平年並に戻らず、採算は悪化した状態が続いている」(農産物卸売業)

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、全業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
業況	▲ 31.7	▲ 32.1	▲ 25.9	▲ 28.8	▲ 23.2	▲ 29.7	▲ 13.8
売上	▲ 26.4	▲ 29.3	▲ 24.1	▲ 17.8	▲ 18.3	▲ 27.6	▲ 8.1
採算	▲ 25.9	▲ 28.0	▲ 20.1	▲ 21.7	▲ 21.5	▲ 26.0	▲ 12.8
資金繰り	▲ 8.7	▲ 9.8	▲ 8.9	▲ 9.2	▲ 10.6	▲ 9.8	▲ 5.9
仕入単価	▲ 19.9	▲ 19.5	▲ 25.0	▲ 29.8	▲ 28.6	▲ 24.4	▲ 24.7
従業員	17.2	18.2	17.1	19.6	18.9	17.8	17.9

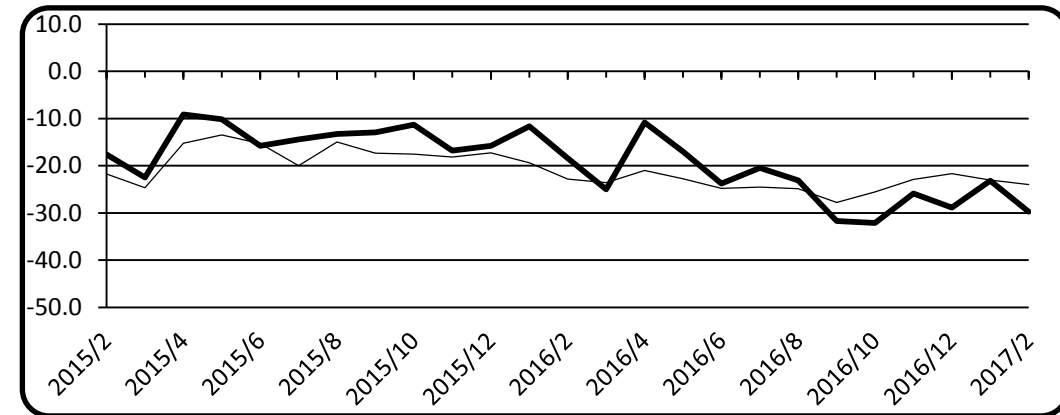
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
建設	0.0	4.8	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 14.3	▲ 8.7	▲ 4.3
製造	▲ 21.1	▲ 28.2	▲ 11.6	▲ 25.6	▲ 13.2	▲ 22.7	4.5
卸売	▲ 22.7	▲ 18.2	▲ 31.8	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 44.0	▲ 32.0
小売	▲ 57.8	▲ 64.3	▲ 48.8	▲ 51.2	▲ 46.5	▲ 43.2	▲ 27.3
サービス	▲ 32.5	▲ 29.3	▲ 17.5	▲ 26.3	▲ 16.7	▲ 25.6	▲ 13.2

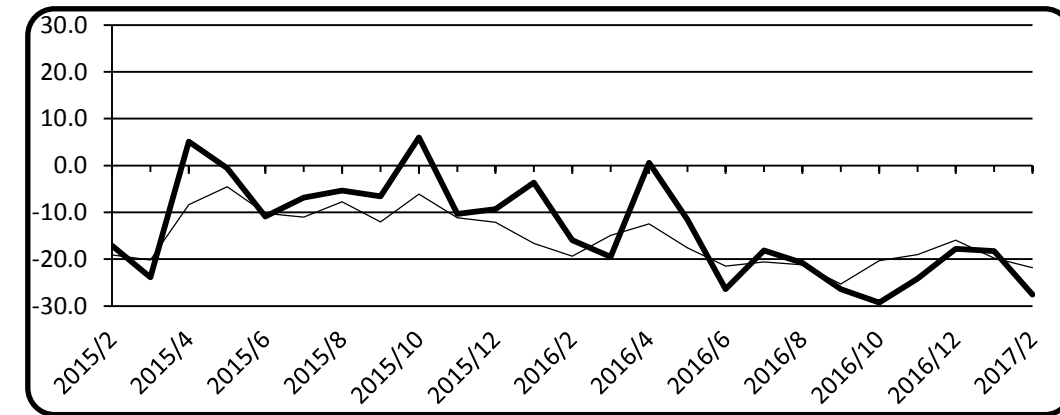
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（関西）

——— 関西 —— 全国

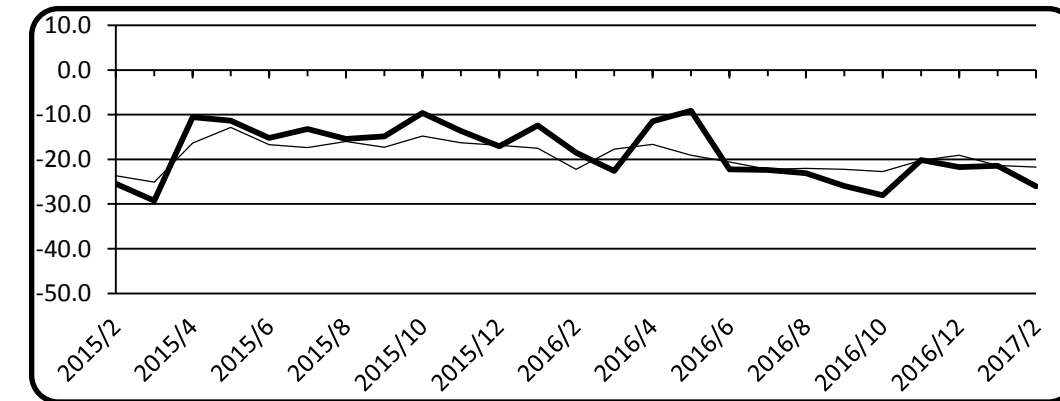
業況



売上



採算



【ブロック別概況・中国】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ改善。産業別にみると、建設業、小売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「公共工事の受注を確保できたため、売上は好調だが、建設資材価格の上昇が懸念材料」（土木工事業）、「記録的な大雪の影響で、臨時休業せざるを得ず、売上は悪化した」（飲食料品小売業）、「地元のイベント目当てに来訪するインバウンドは増加しており、観光需要は堅調。来店客数が増え、売上高が改善した」（飲食業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、建設業で悪化、卸売業で横ばい、その他の3業種で改善の見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
業況	▲ 21.6	▲ 21.2	▲ 16.3	▲ 23.2	▲ 30.0	▲ 22.9	▲ 17.9
売上	▲ 22.7	▲ 17.2	▲ 10.9	▲ 12.1	▲ 27.0	▲ 27.1	▲ 15.8
採算	▲ 14.4	▲ 5.1	▲ 17.6	▲ 18.4	▲ 19.2	▲ 13.7	▲ 4.3
資金繰り	▲ 12.5	▲ 12.4	▲ 6.7	▲ 11.3	▲ 14.3	▲ 9.6	▲ 6.5
仕入単価	▲ 9.4	▲ 14.3	▲ 18.0	▲ 34.0	▲ 27.6	▲ 21.3	▲ 25.8
従業員	20.6	17.2	15.1	15.2	20.0	17.9	16.8

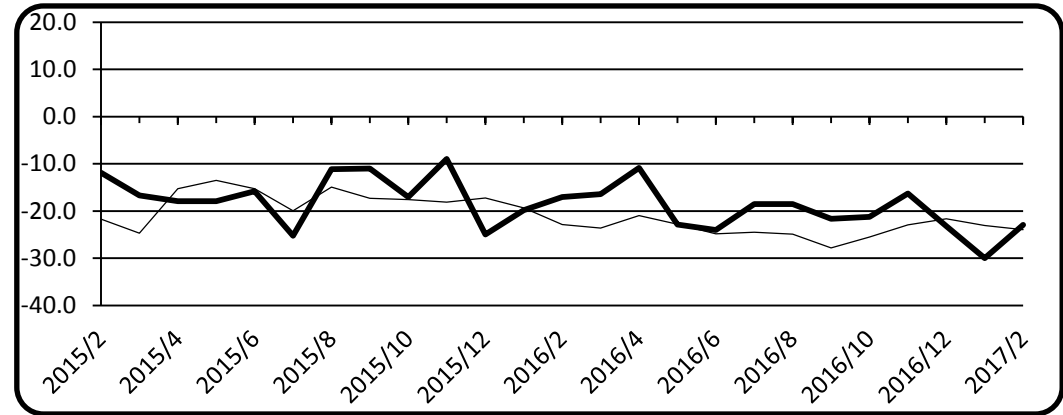
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
建設	0.0	0.0	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 18.2	▲ 7.7	▲ 30.8
製造	▲ 13.3	▲ 16.1	▲ 3.4	▲ 21.9	▲ 6.3	▲ 10.0	▲ 3.3
卸売	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 36.4	▲ 10.0	▲ 20.0	▲ 27.3	▲ 27.3
小売	▲ 40.7	▲ 44.0	▲ 34.8	▲ 38.5	▲ 56.7	▲ 47.8	▲ 40.9
サービス	▲ 6.3	▲ 5.6	▲ 6.3	▲ 22.2	▲ 41.2	▲ 21.1	0.0

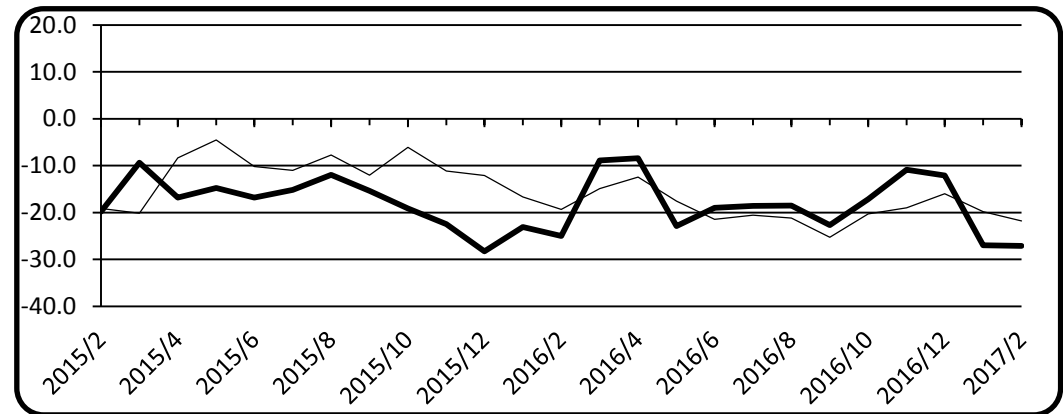
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（中国）

——— 中国 —— 全国

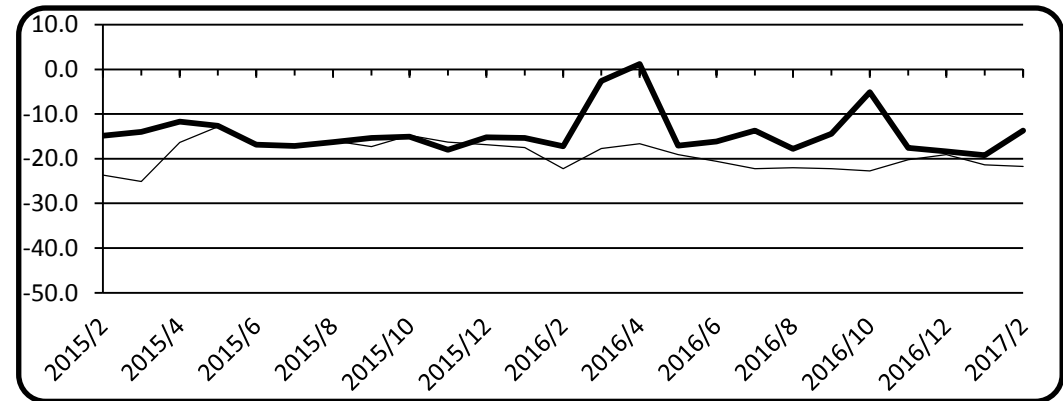
業況



売上



採算



【ブロック別概況・四国】

○全産業の業況DIは、前月と比べ悪化。産業別にみると、全業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。

○「年度内に、市からの公共工事の発注があると想定していたが、想定よりも少なく、十分な受注を確保できなかった」（一般工事業）、「日頃のサービス向上やレシピ改良、雰囲気作りが功を奏し、常連客が増加。天候不順の割には、売上が前年比でプラスとなった」（飲食業）、「売上は前年比横ばいを維持するも、人手不足が深刻なため、納期までのスケジュールが非常に切迫している」（織物製造業）

○業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、卸売業で悪化、その他の4業種で改善する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
業況	▲ 22.1	▲ 17.5	▲ 21.5	▲ 19.2	▲ 22.9	▲ 28.3	▲ 17.3
売上	▲ 14.6	▲ 16.7	▲ 20.6	▲ 15.4	▲ 20.2	▲ 18.9	▲ 9.5
採算	▲ 22.1	▲ 16.7	▲ 15.0	▲ 11.5	▲ 18.1	▲ 18.9	▲ 14.3
資金繰り	▲ 11.5	▲ 9.8	▲ 8.4	▲ 1.9	▲ 5.7	▲ 5.7	▲ 8.6
仕入単価	▲ 17.3	▲ 21.1	▲ 26.2	▲ 24.0	▲ 25.7	▲ 31.1	▲ 25.5
従業員	14.6	15.0	25.5	19.4	22.3	24.8	25.7

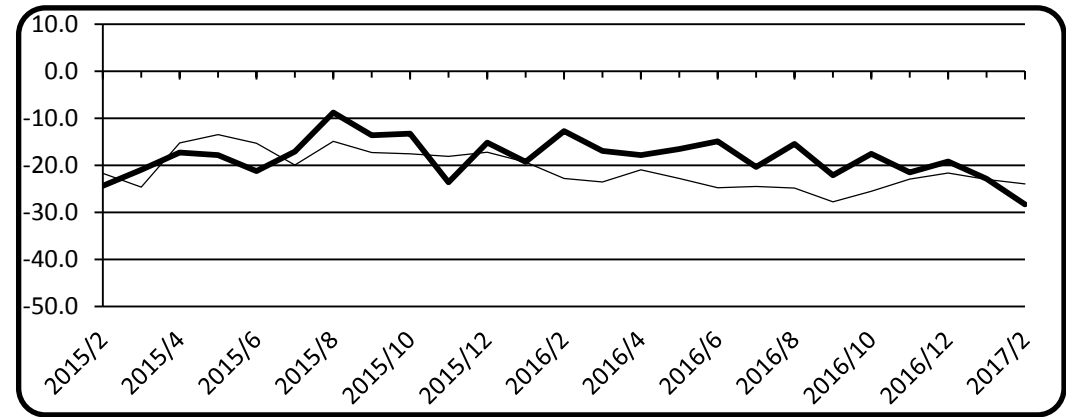
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3~5月
建設	▲ 22.2	▲ 15.0	▲ 23.5	▲ 27.8	▲ 26.3	▲ 35.0	▲ 15.8
製造	▲ 38.5	▲ 32.1	▲ 21.4	▲ 23.3	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 12.5
卸売	▲ 11.1	▲ 9.1	▲ 12.5	▲ 30.0	▲ 27.3	▲ 30.0	▲ 33.3
小売	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 21.4	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 28.6	▲ 25.0
サービス	▲ 11.5	0.0	▲ 23.1	0.0	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 8.3

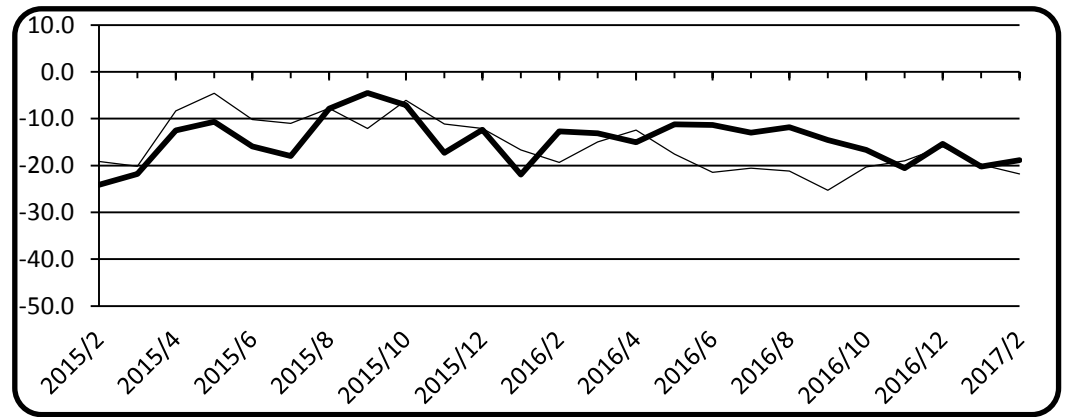
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（四国）

—— 四国 —— 全国

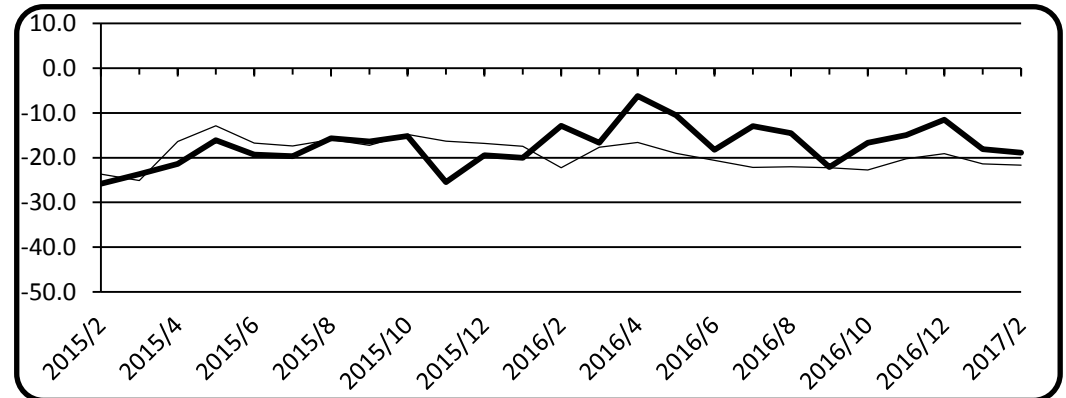
業況



売上



採算



【ブロック別概況・九州】

- 全産業の業況DIは、前月と比べ悪化。産業別にみると、建設業で改善、その他の4業種で悪化した。各業種から寄せられたコメントは以下のとおり。
- 「熊本地震の復旧関連工事の発注が徐々に増加しており、受注ができたことで、売上は改善した。ただし、本格的な発注は、来年度になる見込み」（一般工事業）、「人手不足が深刻なことに加え、昨秋の最低賃金改定もあって、賃金を引き上げざるを得ず、採算が圧迫されている」（ビル清掃業）、「一部の農作物価格が依然として高いものの、全体的には価格は安定しており、採算は平年並みに戻った」（農産物卸売業）
- 業況の先行き見通しDIは、全産業では今月と比べ改善の見込み。産業別にみると、卸売業、小売業、サービス業で改善、その他の2業種で悪化する見込み。

全産業DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
業況	▲ 22.9	▲ 22.7	▲ 25.0	▲ 18.3	▲ 19.1	▲ 25.0	▲ 22.2
売上	▲ 22.0	▲ 24.5	▲ 25.0	▲ 8.8	▲ 19.3	▲ 25.9	▲ 18.9
採算	▲ 17.4	▲ 24.8	▲ 26.8	▲ 11.9	▲ 19.3	▲ 25.9	▲ 16.0
資金繰り	▲ 20.4	▲ 20.2	▲ 26.8	▲ 13.5	▲ 8.7	▲ 23.1	▲ 17.9
仕入単価	▲ 28.7	▲ 28.4	▲ 32.4	▲ 28.0	▲ 24.6	▲ 23.4	▲ 26.4
従業員	11.9	20.2	19.6	23.0	21.7	22.4	23.4

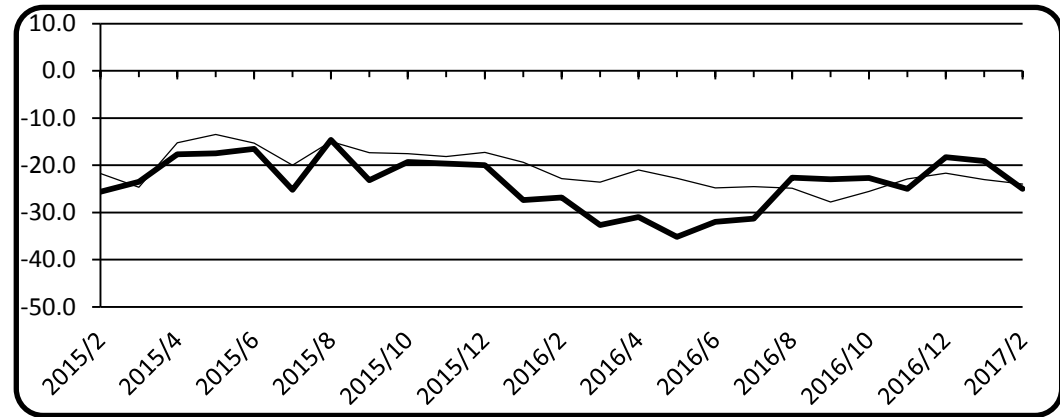
産業別業況DI（前年同月比）の推移

	16年 9月	10月	11月	12月	17年 1月	2月	先行き見通し 3～5月
建設	▲ 28.6	▲ 26.7	▲ 7.1	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 6.3	▲ 18.8
製造	▲ 20.0	▲ 21.4	▲ 33.3	▲ 35.5	▲ 20.7	▲ 29.6	▲ 40.7
卸売	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 16.7	▲ 13.3	▲ 15.4	▲ 20.0	▲ 10.0
小売	▲ 42.3	▲ 45.8	▲ 44.0	▲ 33.3	▲ 42.3	▲ 60.0	▲ 40.0
サービス	▲ 6.3	▲ 6.7	▲ 14.7	9.1	0.0	▲ 3.3	3.3

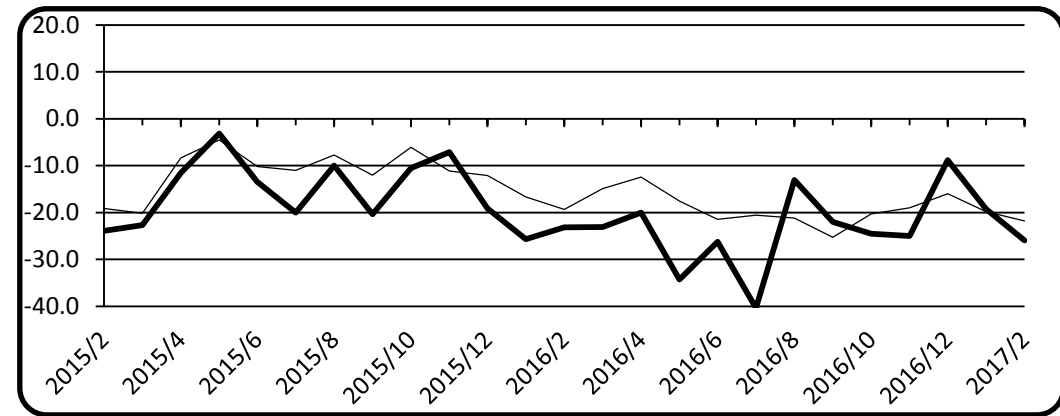
ブロック別全産業DI（前年同月比）の推移（九州）

九州 全国

業況



売上



採算

